

和欧文間の空き

和欧文間に空きを入れるために、XSL Formatter は拡張プロパティを用意しています。

axf:text-autospace に「ideograph-numeric」を指定した場合、仮名漢字-数字間に空きを入れます。「ideograph-alpha」を指定した場合、仮名漢字-アルファベット間に空きを入れます。「ideograph-numeric ideograph-alpha」とすれば両方処理します。

【和欧文間に空きを入れない場合】

DITA(Darwin Information Typing Architecture)は2005年5月、OASISにより承認されたXMLベースの技術文書の生成および管理仕様です。情報の再利用を主要なテーマにし、技術マニュアル等のドキュメント管理に適した仕様で、DITA推進委員会メンバーにはIBM, Nokia, Arbortext, Innodata, Isogen等が名を連ねています。

【和欧文間に空きを入れる場合】

DITA(Darwin Information Typing Architecture)は2005年5月、OASISにより承認されたXMLベースの技術文書の生成および管理仕様です。情報の再利用を主要なテーマにし、技術マニュアル等のドキュメント管理に適した仕様で、DITA推進委員会メンバーにはIBM, Nokia, Arbortext, Innodata, Isogen等が名を連ねています。

和欧文間に空きを入れる場合はさらに、axf:text-autospace-width の値によってその幅を制御できます。次は、上から順に width の値を 0.12em、0.25em、0.5em と増やしたものです。

width="0.12em" : DITA(Darwin Information Typing Architecture)は2005年5月、OASISにより承認されたXMLベースの技術文書の生成および管理仕様です。情報の再利用を主要なテーマにし、技術マニュアル等のドキュメント管理に適した仕様で、DITA推進委員会メンバーにはIBM, Nokia, Arbortext, Innodata, Isogen等が名を連ねています。

width="0.25em" : DITA(Darwin Information Typing Architecture)は2005年5月、OASISにより承認されたXMLベースの技術文書の生成および管理仕様です。情報の再利用を主要なテーマにし、技術マニュアル等のドキュメント管理に適した仕様で、DITA推進委員会メンバーにはIBM, Nokia, Arbortext, Innodata, Isogen等が名を連ねています。

width="0.5em" : DITA(Darwin Information Typing Architecture)は2005年5月、OASISにより承認されたXMLベースの技術文書の生成および管理仕様です。情報の再利用を主要なテーマにし、技術マニュアル等のドキュメント管理に適した仕様で、DITA推進委員会メンバーにはIBM, Nokia, Arbortext, Innodata, Isogen等が名を連ねています。